



## 第32回卒業証書授与式



3月11日(木)春陽の中、令和2年度横浜市立東鴨居中学校第32回卒業証書授与式を執り行いました。昨年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、卒業生と職員のみで式を行いました。今年度は保護者を各ご家庭1名に限定させていただき、換気や座席の間隔等に留意しながら執り行うことができましたことをご報告いたします。

### 卒業生代表の言葉

陽ざしが日に日に穏やかになり、鳥たちの鳴き声と共に、春の訪れを感じる季節となりました。

これからどんな生活が始まるのだろうかという期待や不安・緊張を抱えてスタートラインに立ったあの日。アツという間にゴールテープを切る日を迎えました。

長いようで短かった3年間。今、ここにいる128名の胸にはどのような思いが浮かんでいるのでしょうか。別れを惜しむ気持ち・新生活への不安・新しい仲間に出会うことへの期待。色々なことに思いを馳せる中 今日、私たちの中学校生活に幕がおります。



1年生。入学してすぐは、見る物すべてが新鮮でした。中学生になったのだという誇りと成長を感じて身に付けた制服はブカブカでした。大きく迫力がある上級生達。小学校との違いに驚いたことがたくさんありました。先輩たちが本気でぶつかり合う姿に圧倒された体育祭。何日もかけて全員で作り上げた文化祭。お互いにアドバイスをし合って練習に励んだ合唱コンクール。これらを通して、ぎこちなかった私達は仲間としてだんだん一つになっていきました。

菅平でのスキー教室では、寝起きを共にして、友達と色々な話をしてクラスとしての意識が高まりました。青空に輝く新雪、白銀の峰々、自然と触れ合うことの楽しさを知り、そこで学んだことを班の壁新聞にまとめました。記事の内容もデザインも全て自分たちで決め、完成させました。そして、制作した新聞を緊張しながら、クラスや学年集会で発表したことも懐かしい思い出です。

2年生。下級生が入学してきました。「先輩」と呼ばれると、照れくさく、また、うれしい気持ちになりました。先輩として委員会活動や部活動に一層力がはいるました。

横浜校外学習は班で横浜の街をめぐりました。いつも何気なく見ている街並みに76年前の傷跡が残っていることに驚きました。また、それまで以上に「戦争」を身近に感じ、学ぶことができました。

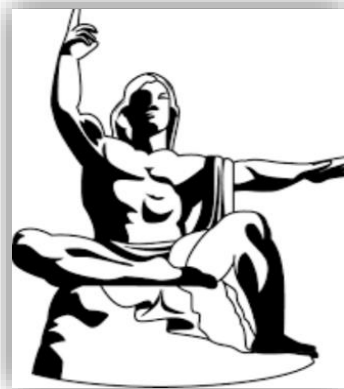
職場体験は「キザニア」に行き、小さい子と一緒に体験で少し恥ずかしい気持ちになりましたが、社会で働くことの意味に気づき将来について考える良い機会となりました。



3年生。最高学年に進級したものの「当たり前」が「当たり前」ではなくなってしまった1年でした。10月開催された体育祭。マスクと軍手を着用して行うことに戸惑いはありましたが、数少ない競技の中でも青学年一人ひとりが本気で勝利を狙い、燃焼しきって全力で楽しみました。走り終わった仲間に「お疲れさま」と声をかける場面や学年の壁を越えて後輩を応援する姿を今でも鮮明に覚えています。



東鴨居中学校は3年間をかけて「平和学習」に取り組みます。原爆が投下された「ナガサキ」の地で「平和集会」を行う予定でしたが叶わず、学校の体育館で「平和学習」の集大成である「平和集会」を行いました。「手話コーラス」「ゲルニカ制作」など学年の特徴を生かし、みんなで「平和」を考え、メッセージを表現することができました。



百人一首大会や球技大会も思い出となりましたが、卒業遠足で訪れた「よみうりランド」 沢山食べて・沢山叫んで・沢山笑って・沢山歩きました。バンドットに10回乗った猛者がいた事や、担任の先生が3人でクレープを食べていたことなど、楽しい思い出として残っていることが沢山あります。修学旅行には行けませんでした。その分、この遠足は思う存分満喫できたと思います。



思い返せば、とても濃い3年間であり、アツという間に過ぎてしまった3年間でした。先生に怒られたことも、炎天下の中、汗を流しながら練習に打ち込んだ日々も、友達と過ごした時間も、全てがかけがえのない思い出です。そんな思い出が溢れる、この校舎で青学年のみんなが笑い合うことも、もうありません。

私たちは今日、東鴨居中学校を卒業します。今まで当たり前にあった「中学校生活」が今日で終わるのは寂しいです。しかし、人として成長し大人になるために、大切な「思い出たち」を糧にして、力強く前に進んでいこうと思います。

最後になりましたが、時に厳しく、時に優しく私たちを導いてくださった先生方、ずっと温かく見守り、支えてくれた家族のみなさん、本当にありがとうございました。地域の皆さんも色々な支援をしてくださいました。ありがとうございます。

そして、ここにいる卒業生のみなさん、毎日を共に走り続けた3年間。明日からは皆それぞれの夢に向かって走り出します。「青学年」の仲間として集える時間も今日で最後になりました。

今、私がここにいる128名に伝えたいこと、それは、心からの「ありがとう」という言葉です。

みんな、本当に ありがとう..

令和3年3月11日  
卒業生代表 山口 華采

卒業式後の見送りで  
PTAからのサプライズが  
ありました。  
卒業生と同じ数128個の  
バルーンと先生たちの数の  
バルーンが青空に上がりま  
した！



1.2年生は卒業式に参列することも直接述べることもできませんでしたが、スロープにお祝いとお礼の言葉を掲示しました。3年生はそれに応えるメッセージを書き残してくれました。直接会えなくても、話せなくても聞けなくても、心はつながっている！と感じました。

「1.2年生、ヒガカモをよろしくね！」



## 送る言葉

だんだんと暖かい日が増え、木や花が芽吹くように心と体も活動的になる季節となりました。

この良き日に、東鴨居中学校を旅立っていかれる三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

入学当初、私は三年生の先輩に対して「威厳があり、近寄り難い存在」というイメージをもっていました。しかし、三年生の落ち着いた雰囲気や行事では全力で前向きに取り組む姿を目にして、考えは変わっていきました。

体育祭の大縄では、仲間同士アイコンタクトをとっていたり、かけ声をかけ

盛り上げていたり、励まし合う姿が印象に残っています。その姿から青学年の団結力を感じました。それは仲間を思いやる温かい気持ちがあったからだと思います。



委員会活動では、三年生の先輩方は分からないことがあれば、優しく、分かりやすく、丁寧に教えてくださいました。見えないところから支えて、助けて頂いたことが、学校生活の支えとなりました。先輩方の思いやりの気ちを目にしていくうちに「親しみやすく、話しやすい、頼もしい存在」というイメージが変わっていきました。

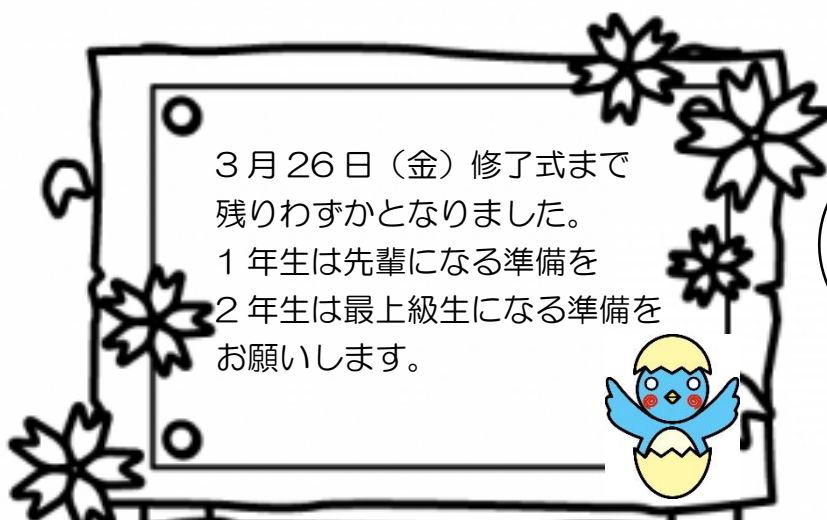
三年生の先輩方は私達1、2年生のあこがれです。

今日、三年生の先輩方は自分の選んだそれぞれの道へ進んでいかれます。

私達の手本となり、ヒガカモを引っ張ってくださった先輩方の姿は忘れません。私達在校生もそれに続けるよう、切磋琢磨し、協力し合って、三年生の先輩方が誇れるヒガカモを目指します。

最後に三年生のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げ、在校生代表のことばといたします。

令和3年3月11日  
在校生代表 坂本 新太



3月26日（金）修了式まで残りわずかとなりました。  
1年生は先輩になる準備を  
2年生は最上級生になる準備をお願いします。

学校HPに今年度の学校評価を掲載しております。ご確認ください。

